

株式会社リビエラとSDGsの関わりについて

① 取り組んだきっかけ

経済産業省のZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）担当の方とお会いする機会があり、その方からSDGsのバッジを頂いたことに始まります。

そこから、SDGsについて独自に調べたところ、当社の事業そのものがSDGsの目標にマッチしているということを知りました。また「誰も置き去りにしない」という理念に共感したことから、弊社でも何か出来ることが無いだろうか、弊社が出来ることとして、まずこの問屋町からSDGsの認知度を高め、普及させていきたいという考えに至りました。

















② 取り組み内容

(1) 自社事業を通じた取り組み











当社の事業は、地下水熱を利用した省エネ・エコ装置の開発と施工です。

具体的には、地下水熱を利用した融雪・冷暖房・給湯・冷凍冷熱・空調設備の開発と施工を行っております。




a. 現在の事業

事業	特徴	関連項目
① 地下水熱利用 融雪事業	地下水熱が熱源となる為、化石燃料（灯油等）を使用しません。 そのため、原油価格の高騰や電気料金に左右されず、経済的かつ環境に配慮した雪対策が可能です。	    
② 地下水熱利用空調 設備事業	外気を使用した空冷式ではなく、水冷式の空調設備となるため、室外機を外に設置する必要が無く、排熱・排風・騒音をゼロにすることができます。 これにより、ヒートアイランド現象や室外機による騒音問題を解消することができます。	     
③ 地下水熱利用冷熱 設備事業	主にスーパーマーケットのショーケース等に利用されており、電気デマンド（電力料金算出に使われる電力値）削減に貢献しています。	    

b. 3年以内の実現を目標としている事業

事業	特徴	関連項目
①地下水熱を利用した農業	通年栽培（水撒き、日射量等の全自動化） 通年栽培で育てた農作物の販売（6次産業化） 作業を自動化することで、人手不足を解消する	  
②地下水熱を利用した漁業	陸上での養殖事業（温度管理等の全自動化） 作業を自動化することで、人手不足を解消する	   
③地下水熱を利用した酪業	牛、豚、鶏の飼養管理（餌やり、排泄物の処理等の自動化） 作業を自動化することで、人手不足を解消する	  

c. 海外（近隣国）への展開

事業	特徴	関連項目
①鑿井（さくせい）事業	井戸業界の人手不足を解消する 鑿井（さくせい）技術・ノウハウの共有 途上国の生活環境（水環境）の改善	  

(2) 視覚的普及活動

- a. SDG s のアイコンをパンフレットなどの発行物に掲載
- b. 社員の SDG s バッジ着用
- c. 会社入口に SDG s の旗、看板を設置
- d. SDG s 17 のゴールをシャッターマーキング実施
- e. 社用車に SDG s ステッカー貼付



(3) 社会貢献活動

- a. ペットボトルキャップの回収・分別を通じて、世界の子供たちへのワクチン支援
- b. NPO 法人「カタリバ」、国境なき医師団、日本赤十字社「グッドネイバーズ・ジャパン」への支援

③取り組んだことによる効果・感想

SDGsのロゴの看板、旗、パンフレットを作成、新聞社への広告掲載などにより、社内外に対してSDGsの視覚的普及を行ったところ、その効果として自治体や他企業様との情報交換の機会を得ることができ、以下の新たな取り組みを進めることとなりました。

(1) RE100アクション

青森県庁 エネルギー開発振興課の職員の方へ弊社の事業についてお話する機会をいただき、弊社のSDGsの取組をお伝えしました。

その際に企業、自治体等で使用している電力を100%再生可能エネルギーへ転換、促進する枠組み「RE100アクション」をご教示いただき、弊社でも参加することとなりました。

「RE100アクション」参加に伴い、弊社で使用している電力を年内に「みんな電力※1」へ切り替えることを予定しており、再生可能エネルギーの更なる普及に努めていきます。

※1 東京都世田谷区でエネルギー事業を展開している、小売電気業者。全国にある再生可能エネルギー発電所の電力を「どこで」「だれが」「どのような方法で」発電しているかを知ったうえで購入することができる。(第4回ジャパンSDGsアワード 内閣総理大臣賞受賞。)

(2) 日本たばこ産業(JT)様との情報交換

東奥日報に掲載されていた、「GOALS START!」(地元企業が取り組んでいるSDGsを紹介した記事)をきっかけに、SDGsについての情報交換の機会を頂くことができました。

地元中小企業のSDGsに対する認識、青森総合卸センターSDGs推進委員会での活動、これからの弊社の展望等をお話させていただきました。相互に協力し、青森でのSDGs活動を広めていくことで一致しました。

